

2025年3月11日
JR 東日本メカトロニクス株式会社

「モチベーションチームアワード 2025」にて入選

JR 東日本メカトロニクス株式会社（本社：東京都渋谷区、代表取締役：太田 朝道、以下当社）は、株式会社リンクアンドモチベーション（本社：東京都中央区、代表取締役会長：小笹 芳央、証券コード：2170、以下リンクアンドモチベーション）が発表した、「モチベーションチームアワード 2025」で入選いたしましたので、お知らせいたします。



「モチベーションチームアワード 2025」とは、リンクアンドモチベーションが 2024 年に従業員エンゲージメント調査を実施した企業の中から、企業と従業員の相互理解・相思相愛度合いを偏差値化した「エンゲージメントスコア[※]」が大きく上昇し、組織状態に改善がみられた部署が表彰される年に一度の式典です。この度、当社のシンクライアントシステム開発本部 システム技術部が入選いたしました。当社として昨年の「モチベーションチームアワード 2024」の仙台支店 山形営業所に続き 2 年連続での入選となります。

※企業と従業員のエンゲージメント（相互理解・相思相愛度合い）を表す指標。データベースを基に偏差値として算出されるほか、結果に応じた 11 段階のランク付けを「エンゲージメント・レーティング」と定義しています。また、「エンゲージメントスコア」「エンゲージメント・レーティング」はリンクアンドモチベーションの登録商標です。（登録番号：第 6115383 号、第 6167649 号）

昨今、企業を取り巻く環境は急速に変化しており、人材獲得競争が激化しています。企業がこのような時代の変化に適応して競争優位性を築くためには、「従業員エンゲージメント」の向上が必要不可欠です。当社では、2020 年より本サービスを導入し、可視化された診断結果をもとに、豊富な知見を持つリンクアンドモチベーションのコンサルタントとともに組織改善に取り組んでいます。

【従業員エンゲージメント調査について】

リンクアンドモチベーションでは、従業員エンゲージメントに影響を与える 16 領域 64 項目について、従業員の期待度・満足度を集計する独自の調査方法によって、組織のエンゲージメント状態を可視化しています。創業以来培ってきた 12,650 社、509 万人のデータベースをもとに算出されたエンゲージメントスコアが高いほど、営業利益率や労働生産性も高い傾向にあることが報告されています。

【モチベーションクラウドについて】

モチベーションクラウドは、国内最大級のデータベースをもとに組織状態を診断し、従業員エンゲージメント向上を支援するクラウドサービスです。

▶サービスサイトは[こちら](#)

【リンクアンドモチベーションについて】

リンクアンドモチベーションは、独自の基幹技術「モチベーションエンジニアリング」を用いて、組織課題の「診断」、課題の「変革」、結果の「公表」を通じて、企業の「人的資本経営」を総合的に支援しております。

▶コーポレートサイトは[こちら](#)

— 本件のお問い合わせ先 —

JR 東日本メカトロニクス株式会社

経営企画本部 働き方改革推進部 ダイバーシティ推進課

齊藤、渡邊、真木

TEL : 03-5365-3802